

「心の燕市8つのチャレンジ」について

◎「心の燕市8つのチャレンジ」の誕生

平成13年度から実施の「燕市学校教育実践上の努力点」策定委員会で、学校教育関係者・家庭・地域が連携して「つばめの子どもたちを宝物として輝かせていく」ために、燕市全体で取り組むべき共通項目として、熟考・審議の末、成案が出来上がりました。

そして平成13年3月、燕市議会本会議において、市長が市政方針演説の中で「心の燕市8つのチャレンジ」の設定と推進について表明し、正式に誕生したものです。

その後合併がありましたが、燕市では「心の燕市8つのチャレンジ」に全市をあげて継続して取り組むこととし、推進に取り組んでいます。

◎意義

「心の燕市8つのチャレンジ」は、燕市民全体が、燕で育つ子どもたちに「豊かな心を育むための指針」となるよう制定されました。

- 1) 人として生きていく上での当然のしつけとして
- 2) 子どもたちに身につけさせたい「しつけ」として

燕市の子どもたちに受け継いでいきたい思いや願い、はぐくみたい豊かな心情を8つの項目として表したものです。

心の燕市8つのチャレンジ推進の取組

燕市教育員会連携事業
心の教育推進委員会

I 年度の取組計画の明確化

- 年度の取組内容の設定
- 学校評価項目等への位置付け
- 重点的取組についての共通理解
- 担当者の位置付け

II 道徳との関連

- 全体計画への位置付け
- 指導計画への位置付け
- 8つのチャレンジにかかわる授業及び授業公開



IV 家庭及び地域との連携

- 各種便りによる啓発
学校便り・学年便り・学級便り
生徒指導便り
- 8つのチャレンジに関する授業公開
- 懇談会等における話題
学年・学級懇談会・地域懇談会
入学式・PTA 総会
- アンケートによる啓発
- 家庭での実践の呼びかけ

V 取組についての評価

- がんばりカードや自己評価カードによる評価
 - 児童・保護者対象のアンケートによる評価
 - 教師の見取りによる評価
- など

心の燕市8つのチャレンジ

III 生徒指導・特別活動

各教科等との関連

1 生徒指導との関連づけ

- 全体計画への位置づけ
- 生活目標への位置付け

2 特別活動との関連づけ

- ア 学校行事
 - ・マラソン大会、登山等
- イ 児童会・生徒会活動
 - ・あいさつ運動など
 - ・児童生徒の自主的な活動
- ウ 学級活動
 - ・目標をもって生きる態度の育成
 - ・基本的な生活習慣の形成
 - ・働くことの意義の理解
 - ・社会の一員としての自覚と責任
 - ・望ましい食習慣の形成 など

3 各教科・総合的な学習の時間との関連づけ

- 食に関する事項
- 敬愛に関する事項
- 個性伸長・きまりに関する事項他



心の燕市8つのチャレンジ



○ 明るいあいさつをさせよう

⇒ あいさつをする子どもは、明るく人とかわれる子に育ちます。

○ はっきりと返事をさせよう

⇒ 返事ができる子どもは、自分に自信がもてる子に育ちます。

○ 履き物をきちんとそろえさせよう

⇒ 履き物を揃える子どもは、けじめのある子に育ちます。

○ 食事をしっかりとらせよう

⇒ 正しい食事をとる子どもは、健康で活力ある子に育ちます。

○ そうじや手伝いをさせよう

⇒ 掃除や手伝いをする子どもは、責任ある子に育ちます。

○ 子どもをしっかりとほめ

きちんと叱ろう

⇒ 適切な褒め方やしかり方をされた子どもは、判断力のある子に育ちます。

○ がまんする体験をさせよう

⇒ 我慢が出来る子どもは、頑張り屋で意志の強い子に育ちます。

○ お年寄りや目上の人を

敬う心を育てよう

⇒ 他人を敬う子どもは、思いやりのあるやさしい子に育ちます。

心の燕市8つのチャレンジ

児童・生徒用



- ^{あか}明るいあいさつをしよう
- は^{へんじ}っきいと返事をしよう
- ^は履^{もの}き物をきちんとそろえよう
- ^{しょくじ}食事をしっかりとろう
- ^{てっだ}そうじや手伝いをしよう
- い^{ちゅうい}いところをのびし、注意されたら
す^きなおに聞こう
- あ^{つよ}きらめないでねばい強^とく取^くり組もう
- ^{としよ}お年寄^{めうえ}いや目^{ひと}上^{だいじ}の人を大事にしよう